平成 25 年 9 月 11 日

各　　位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株式会社山王
代表取締役社長　甲山　文成
（コード番号：３４４１）
問い合せ先　取締役経理部長 兼経営企画部長　鈴木　啓治
電話番号　０４５（５４２）８２４１

業績予想数値と実績値との差異および特別損失の発生に関するお知らせ

平成 25 年 6 月 12 日に公表した平成 25 年 7 月期（平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日）における通期の業績予想数値と本日公表の実績数値との差異につきまして下記の通りお知らせするとともに、下記の通り特別損失の計上を行うことになりましたのでお知らせいたします。

記

平成 25 年 7 月期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 24 年 8 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	6,900	△380	△320	△320	△67.82
当期実績値　（B）	6,999	△533	△492	△648	△137.39
増減額（B－A）	99	△153	△172	△328	－
増減率（%）	1.4	－	－	－	－
（ご参考）前期実績（平成 24 年 7 月）	7,821	296	338	601	124.86

差異の理由

売上高は計画通りに推移しましたが、損益面では生産性向上のための諸施策による原価低減、全社あげての経費削減等に取組んだものの、市場環境の悪化を補うには至らなかったことから営業損失、経常損失ともそれぞれ損失額の増額となりました。

当期純損失につきましては、特別損失として減損損失 105 百万円を計上したことに加え、本日付で公表している「希望退職者募集の結果および特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり、希望退職者募集に関する割増退職金等約 49 百万円を計上したことから 648 百万円（前回予想は 320 百万円の当期純損失）となりました。

特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社グループが保有する固定資産について、収益性の低下等による減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、

帳簿価額を回収可能価額まで減損し、平成25年7月期決算において105百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

（減損損失の内容）

資産の内容　所在地　減損損失額

事業用設備　神奈川県秦野市　9百万円

遊休設備　神奈川県伊勢原市　8百万円

遊休設備　フィリピンカビテ州　86百万円

以上